



ごあいさつ

このたび皆さまに2019年3月期の業績や取組みなどをお伝えするため、ディスクロージャー誌「2019南都銀行レポート」を作成いたしました。ご高覧いただければ幸いです。

当行は本年1月、前身である「第六十八国立銀行」の開業から数えて創業140周年を迎えることができました。これもひとえに皆さまのご愛顧とご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

本年度は中期経営計画「活力創造プランⅡ～変革と挑戦～」の最終年度でもあり、「地域経済力の創出」「お客さま志向のサービス提供」「業務刷新による生産性・収益性の向上」「高度な経営管理態勢の構築」にもとづいた諸施策を推進するなど、営業店・本部が一丸となって総仕上げに取り組んでおります。

私どもは、昨年度、「壊せ、南都。」のイメージポスターのもと、これまでの「常識」や「固定観念」を見直し、役職員一丸となって「人材の質」「営業の質」「事務の質」の向上に努めてまいりましたが、本年4月からは「生み出せ、南都。」をテーマとし、お客さま本位のより質の高い営業活動を展開するため、当行の営業エリアを地域の特性に応じ5つの「ブロック」に編成した「ブロック・エリア営業体制」を導入しました。

新たな営業体制のもと、お客さまの真の課題を解決する最適なソリューションを創造・提供する「コンサルティング営業」や地域金融機関として地域経済の活性化に資する取組みを推進してまいります。

役職員一同、お客さまにとっての価値をさらに「生み出せ」る銀行に変わっていくことを目指し精一杯努力してまいりますので、今後とも一層のご支援とご愛顧を賜りますよう心からお願い申し上げます。

2019年7月

取締役会長

植野康夫

取締役頭取

橋本隆史